

モリツグAP通信中国ニュースディレクターとの懇談会を開催

開催日： 2019年12月24日(火)
場 所： 経団連会館
講 師： ケン・モリツグ AP通信社 中国ニュースディレクター

経済広報センターは、経済界の広報活動強化の一環として、有力外国メディアジャーナリストとの懇談会を継続的に開催しており、2019年12月24日、AP通信社のケン・モリツグ中国ニュースディレクターの来日機会をとらえ、東京・大手町の経団連会館で懇談会を開催した。同センターの主要会員企業・団体から約20名が参加。米中貿易摩擦や混迷する香港の情勢などについて意見交換を行った。

モリツグ氏は、米中間の貿易摩擦について、中国の歴史観や1980年代の日米貿易摩擦との共通点と相違点を踏まえて解説。米中間にある競争関係が貿易面にとどまらず、安全保障にかかわる技術開発に及んでいることを指摘するとともに、米国内において中国との関係のあり方を考え直そうという傾向がみられると述べた。また、出席者からは、香港における民主化デモの現在と過去の違いや、今後の米中貿易摩擦に関するトランプ政権のシナリオ、米中間の技術覇権争いの見通しなどについて質問があり、自らの取材経験を基にした独自の見解を共有した。



モリツグ氏は、ジャパン・タイムズでキャリアをスタートし、ニュースデイ、ナイト・リッダーワシントン特派員を経て、2007年にAP通信に入社。東京支局長や日本・韓国ニュースディレクターを歴任した後、2019年3月から中国ニュースディレクターに就任し、活躍の場を中国、香港へと広げている。

以 上